

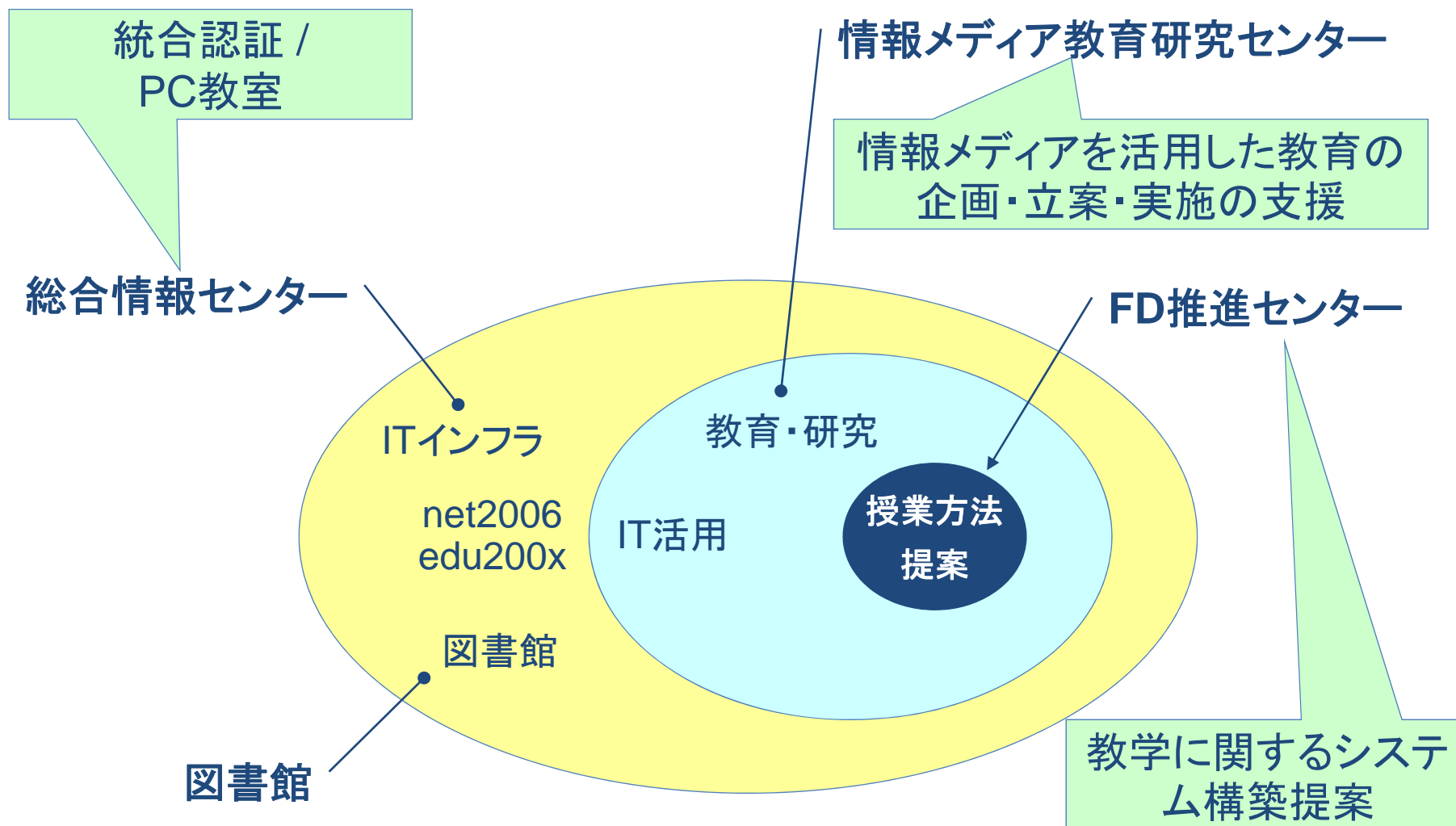
# 建築学科における 学習成果物と学習指導履歴の eポートフォリオ化

2011/03/10(thu)

法政大学 情報メディア教育研究センター

寺脇由紀

## 法政大学 IT関連組織



# 日本の建築教育の国際化の遅れ

近隣と日本の建築教育の現状: アーキテクトと名乗ることができるまで

---

- 中国
  - NCARB(全米建築家登録委員会協議会) と同等の資格
- 韓国
  - UIA(国際建築家連合)アコードの求める建築教育へ移行
- マレーシア, シンガポール
  - イギリス型のデザイン教育
- 日本
  - 構造・設備・デザインが一体となった建築教育
  - しかし, 教育体系は国際的に孤立している

## 日本の建築教育からの対応策

---

- 大学 + 大学院 (6年間) を教育期間とする
  - 6年間を教育期間とすることでUIAアコードを満足する
  - 大学 + 大学院 の教育内容を国際的に認証された組織に認証してもらう
  - 国際的に認証された組織(JABEE)



JABEE認定を得ること  
= (イコール)  
国際的に建築家資格を得ることに通じる

## JABEE受審

---

- Evidence + Outcomes
  - Evidence (授業資料), Outcomes(授業成果物)
  - 授業資料は, 授業支援システムに蓄積可能
  - 建築学科の作品は授業支援システムになじまない
    - ✓ 図面, 模型(データが重い, 電子化の手段)
    - ✓ 受審では, 学部4年分, 大学院2年分の Evidence + Outcomes が求められる(1年分のみ)



建築学科 + 情報メディア教育研究センター

# 建築学科独自の教育支援システムの構築へ

## システム構築のゴール

---

- 教員と学生が「学び」の環境を共有することを可能にしたい
  - JABEEのための授業資料（Evidence + Outcomes 蓄積）の保管のためだけでなく、学科全体の教育環境改善へ
- 建築学科の実践を変えず、困難なことをシステムによって改善する
  - 授業風景・模型撮影用カメラのデータの管理
  - 手書きのレポートや、作品の管理
  - 学生の履修計画（学習計画）立案の支援

## 構築したシステム概要

OSP やMahara などの代表的なeポートフォリオシステムは利用していない

---

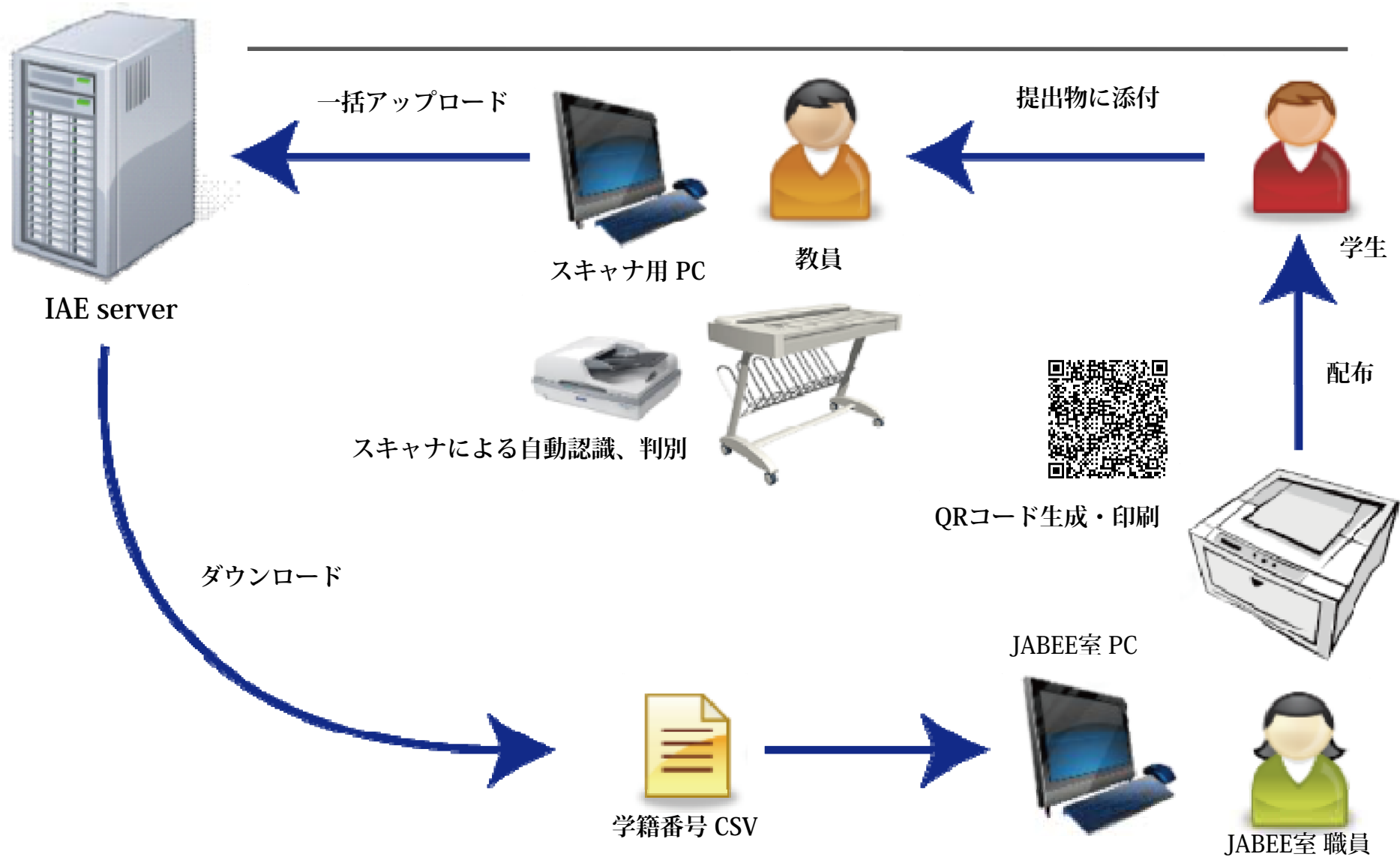
- IAEサーバ(eポートフォリオ)の立ち上げ
  - 授業風景・模型撮影用カメラからのデータの管理
  - QRコードを利用した手書きレポートや作品の管理
- 授業履修計画シミュレーション



電子化するための手段に主眼

カリキュラムに直結した学習計画  
立案

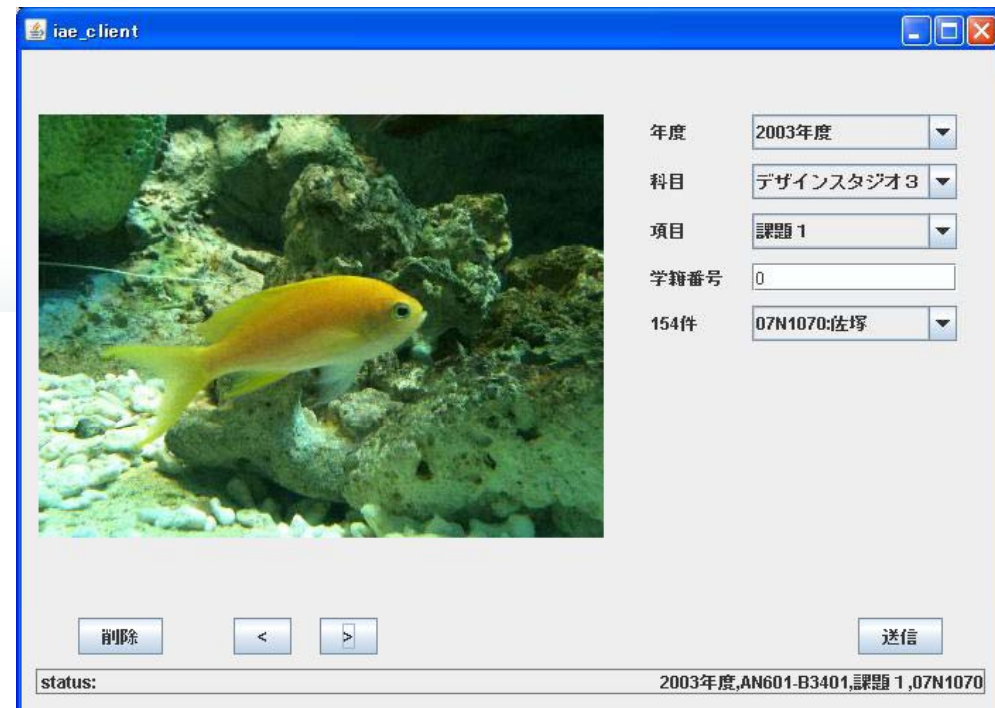
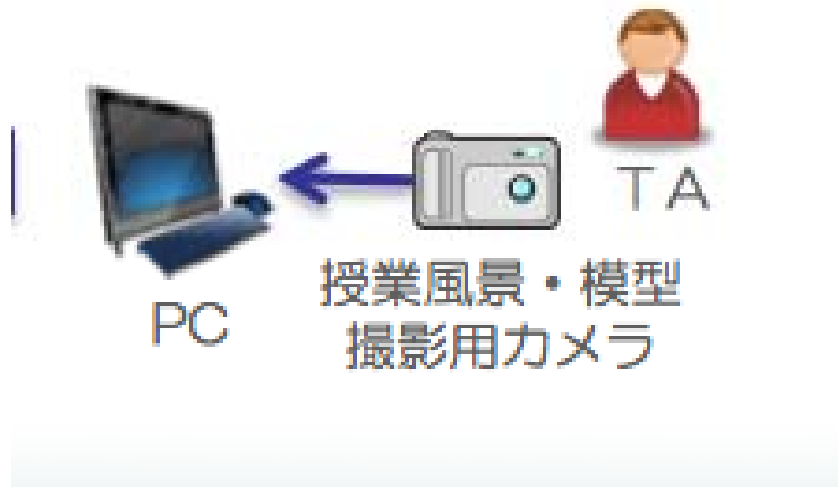
## QRコードを利用したレポートや作品の管理





# 授業風景・模型撮影用カメラからのデータの管理

授業風景撮影 → サーバへ瞬時にアップロード



# 授業履修計画シミュレーション



## ■従来

成績表・履修の手引きなどを見ながら、電卓片手に単位計算  
建築学科では

学年取得限度単位数・卒業単位数の他、  
1級建築士・JABEE認定のための単位などを確認  
3年、4年になると大学との関係が希薄に→ 防止したい



## ■今後

目的別に、取得単位数と取得予定単位をシミュレーションしながら  
授業履修計画を立てることができる